



Red Hat CloudForms

4.1

セルフサービスユーザーインター フェースの概要

Red Hat CloudForms セルフサービスユーザーインターフェースの概要

Red Hat CloudForms Documentation
Team

Red Hat CloudForms 4.1 セルフサービスユーザーインターフェースの概要

Red Hat CloudForms セルフサービスユーザーインターフェースの概要

Red Hat CloudForms Documentation Team
cloudforms-docs@redhat.com

法律上の通知

Copyright © 2017 Red Hat, Inc.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux ® is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java ® is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS ® is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL ® is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js ® is an official trademark of Joyent. Red Hat Software Collections is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack ® Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

概要

本書では、Red Hat CloudForms のセルフサービスユーザーインターフェースで利用可能なオプションについて概説します。本ガイドを改善するためのご意見やご提案をお寄せいただく場合、またはエラーを発見された場合には、<http://bugzilla.redhat.com> で Red Hat CloudForms Management Engine の Documentation コンポーネントを指定して、Bugzilla レポートを提出してください。セクション番号、ガイド名、CloudForms のバージョンなど具体的な情報を記載していただくと、より迅速に対応することができます。

目次

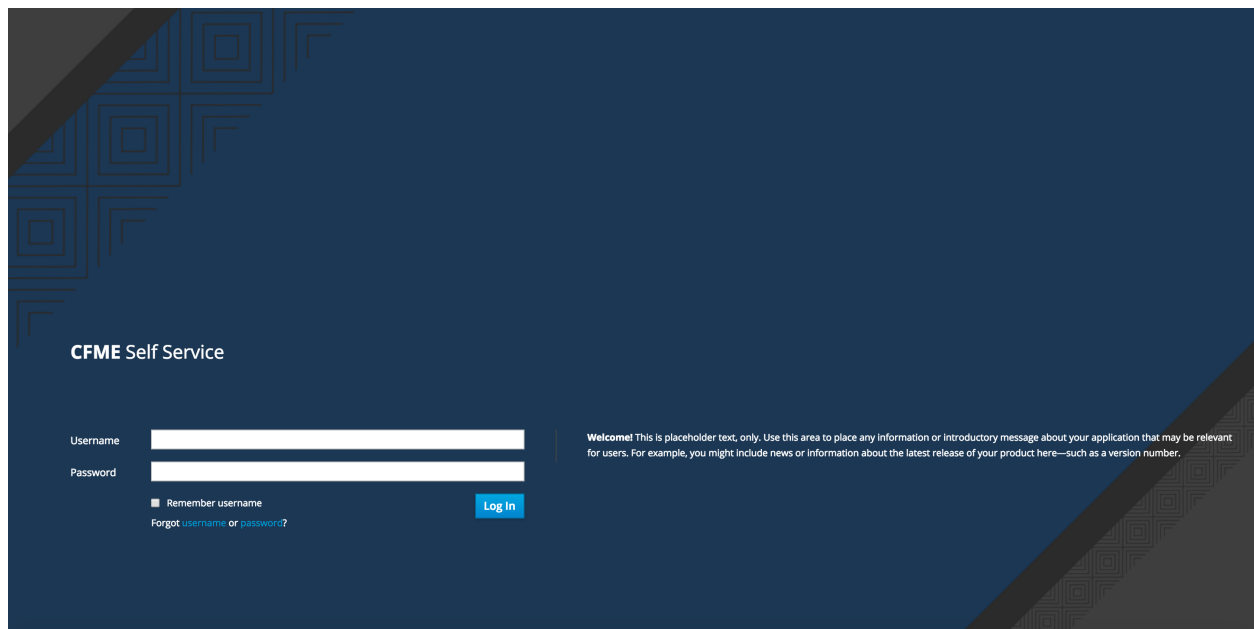
第1章 RED HAT CLOUDFORMS セルフサービス	3
1.1. セルフサービスユーザーインターフェースへのアクセス	3
第2章 ダッシュボードタブ	4
第3章 マイサービスタブ	6
第4章 マイリクエストタブ	7
第5章 サービスカタログタブ	8

第1章 RED HAT CLOUDFORMS セルフサービス

Red Hat CloudForms セルフサービスは、IT サービス要求をオーバーおよび管理するための Web ベースのグラフィカルユーザーインターフェースです。セルフサービステナントのエンドユーザーを有効化すると、ウィジェット/ダッシュボードの制御やフィードバックの機能を実装したセルフサービスユーザーインターフェース (SSUI) を使用して、サービスへのアクセス、要求のトラッキング、アカウントの管理を容易に行うことができます。セルフサービスユーザーインターフェースは、完全な管理ユーザーインターフェースと同様に、メニューおよび機能のロールベースアクセス制御をサポートしています。

注記

セルフサービスユーザーインターフェース内でユーザーがカタログ項目、ダイアログ、ボタン、アイコン、およびその他の項目を使用できるようにするには、それらをすべて、完全な管理ユーザーインターフェース内であらかじめ設定しておく必要があります。



1.1. セルフサービスユーザーインターフェースへのアクセス

セルフサービスユーザーインターフェースはデフォルトで実行されており、起動や設定をする必要はありません。セルフサービスユーザーインターフェースにアクセスするには、アプライアンスのホスト名 (または IP address) およびログインの認証情報を知っている必要があります。

セルフサービスの URL:

`https://HOSTNAME/self_service/`

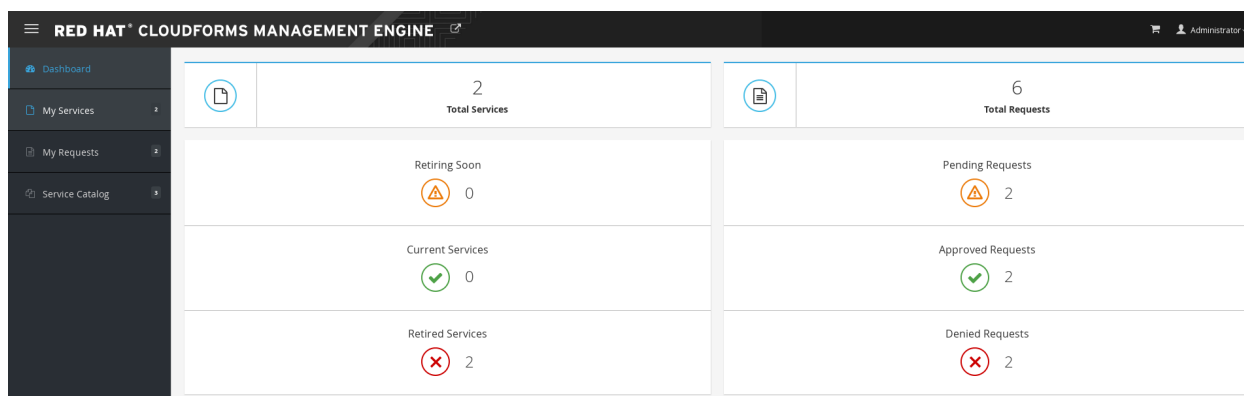
注記

セルフサービスユーザーインターフェースのログインページには、デフォルトで **管理者ユーザー**が含まれています。

第2章 ダッシュボードタブ

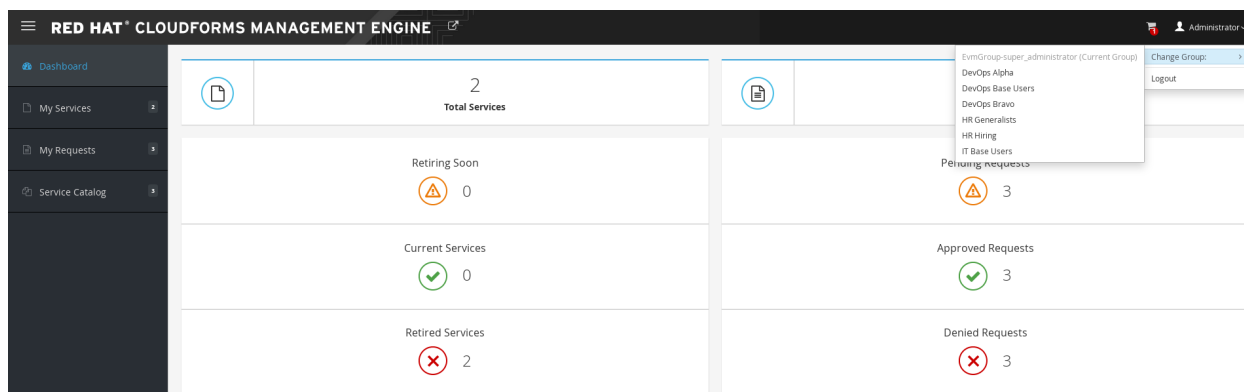
セルフサービスユーザーインターフェースにログインすると、デフォルトでダッシュボードの画面が表示されます。**ダッシュボード** タブには、利用可能なサービス、実行した要求の件数およびそれらのステータスが以下のように表示されます。

- ✳ サービス合計数
- ✳ 現在有効なサービス
- ✳ リタイア予定のサービス
- ✳ リタイア済みのサービス
- ✳ 要求の合計数
- ✳ 保留中の要求
- ✳ 承認済みの要求
- ✳ 拒否済みの要求




完全な管理ユーザーインターフェースと同様に、画面左のスライドアウトナビゲーションメニューは、上部のメニューアイコン(≡)をクリックすると最小化することができます。ナビゲーションメニューの**マイサービス**、**マイリクエスト**、および**サービスカタログ**のタブには、対応する項目の数が表示されます。

セルフサービスユーザーインターフェースは、メニューおよび機能のロールベースアクセス制御をサポートしています。ユーザーが複数のグループのメンバーになっている場合には、ユーザーインターフェースの右上隅にある現在の LDAP ユーザーグループで **Administrator > グループの変更** をクリックすると、アクション中のグループを変更することができます。



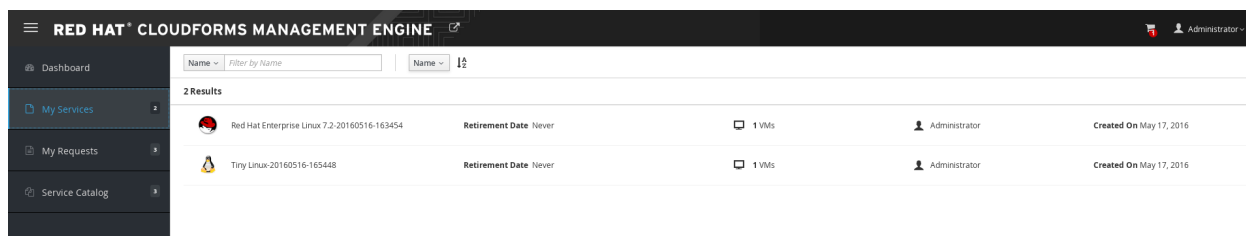




注記

ユーザーインターフェース上部にある矢印アイコン () をクリックすると、新しいブラウザーウィンドウ/タブで CloudForms の完全な管理ユーザーインターフェースのログインページが開きます。

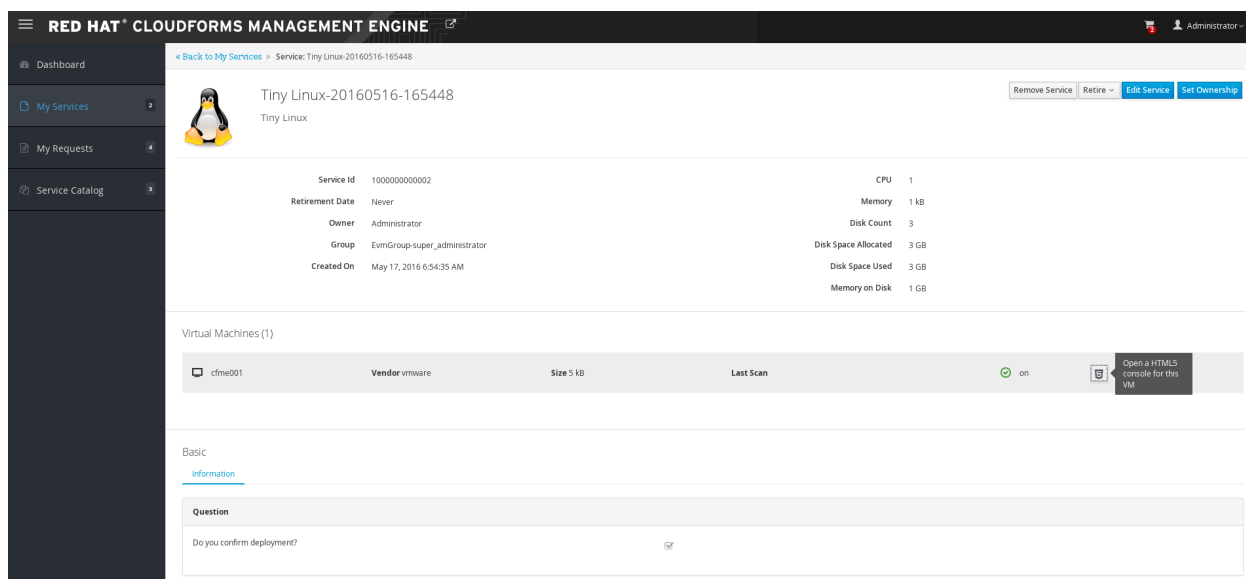
第3章 マイサービスタブ

マイサービス タブには、利用可能なサービスが、サービス名、リタイアの日付、仮想マシン数、所有者、および作成 日など、各サービスに関連付けられた情報の概要とともに表示されます。サービスは、これらの値でフィルタリングまたは並べ替えることができます。



Name	Filter by Name	Name	1 2
2 Results			
 Red Hat Enterprise Linux 7.2-20160516-163454	Retirement Date	Never	1 VMs Administrator Created On May 17, 2016
 Tiny Linux-20160516-165448	Retirement Date	Never	1 VMs Administrator Created On May 17, 2016

サービスをクリックすると、そのサービスに関連付けられている仮想マシンなどの詳細情報が表示されます。また、スクリーンショットに示したように、ボタンをクリックして HTML 5 コンソールで仮想マシンにアクセスすることも可能です。同じ画面には、サービスを即時もしくは後日にリタイアするオプションもあります。また、**所有権の設定** ボタンを使用してサービスの所有権とグループも変更したり、完全な管理ユーザーインターフェースと同様にサービスを **再設定** することもできます。



RED HAT® CLOUDFORMS MANAGEMENT ENGINE

Dashboard | My Services | My Requests | Service Catalog

Service: Tiny Linux-20160516-165448

Remove Service Retire Edit Service Set Ownership

Tiny Linux-20160516-165448
Tiny Linux

Service Id	10000000000002	CPU	1
Retirement Date	Never	Memory	1 kB
Owner	Administrator	Disk Count	3
Group	EvmGroup-super_administrator	Disk Space Allocated	3 GB
Created On	May 17, 2016 6:54:35 AM	Disk Space Used	3 GB
		Memory on Disk	1 GB

Virtual Machines (1)

cfme001	Vendor vmware	Size 5 kb	Last Scan	on	Open a HTML5 console for this VM
---------	---------------	-----------	-----------	----	----------------------------------

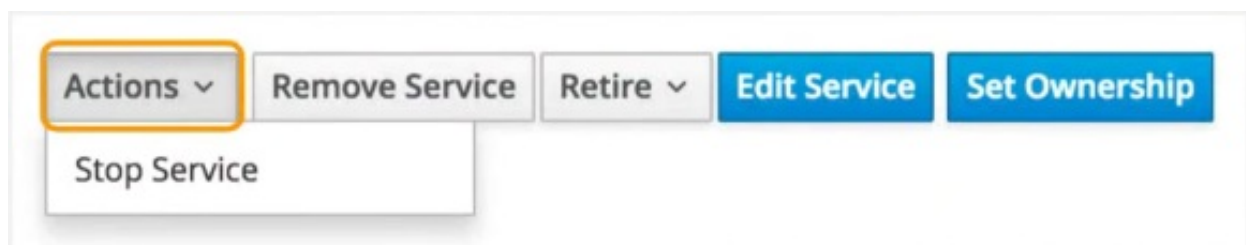
Basic

Information

Question

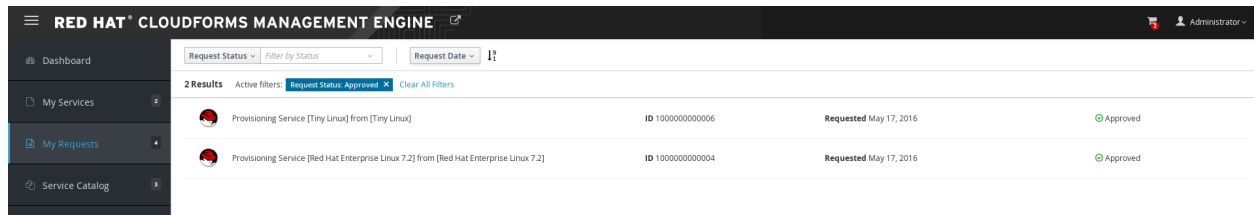
Do you confirm deployment?


また、カスタムボタンおよびカスタムボタングループに関連するダイアログが可能なボタンおよびグループのサポートを追加することもできるようになりました。



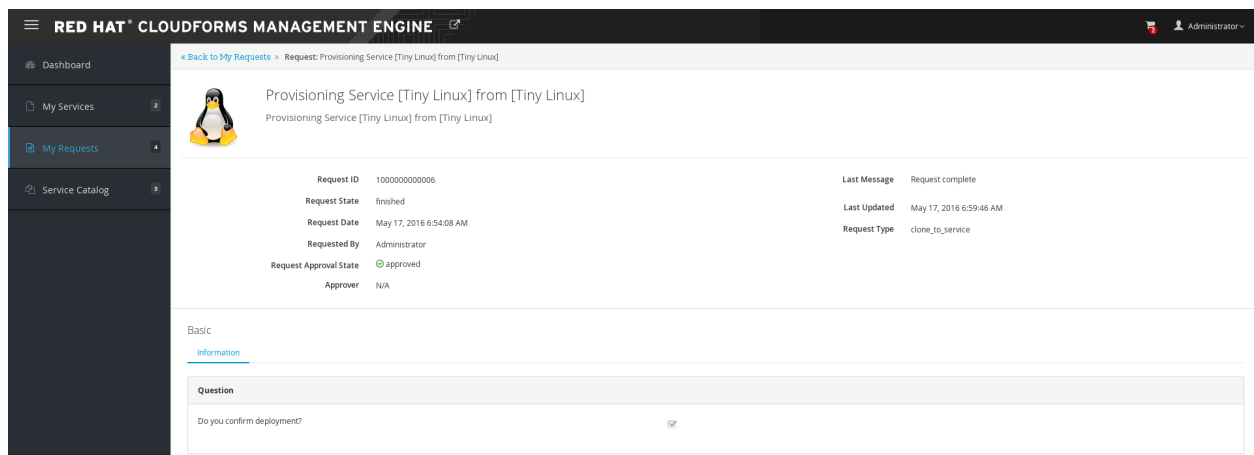
第4章 マイリクエストタブ

マイリクエストタブには、これまでに実行した要求のリストとともに、要求 ID、要求日、要求の状態など、各要求に関連付けられている項目の概要が表示されます。要求のリストは、画面上部の対応するボタンを使用して、それらの値でリストをフィルタリングしたり並べ替えたりすることができます。



RED HAT® CLOUDFORMS MANAGEMENT ENGINE				
Request Status Filter by Status Request Date 1?				
2 Results Active filters: Request Status: Approved Clear All Filters				
	Provisioning Service [Tiny Linux] from [Tiny Linux]	ID 10000000000006	Requested May 17, 2016	Approved
	Provisioning Service [Red Hat Enterprise Linux 7.2] from [Red Hat Enterprise Linux 7.2]	ID 10000000000004	Requested May 17, 2016	Approved

特定の要求をクリックすると、以下のスクリーンショットに示したように、詳細情報を確認することができます。



RED HAT® CLOUDFORMS MANAGEMENT ENGINE

Administrator

Dashboard


My Services

My Requests

Service Catalog

Back to My Requests

Request: Provisioning Service [Tiny Linux] from [Tiny Linux]



Provisioning Service [Tiny Linux] from [Tiny Linux]

Provisioning Service [Tiny Linux] from [Tiny Linux]

Request ID

10000000000006

Request State

finished

Request Date

May 17, 2016 6:54:08 AM

Requested By

Administrator

Request Approval State

approved

Approver

N/A

Last Message

Request complete

Last Updated

May 17, 2016 6:59:46 AM

Request Type

clone_to_service

Basic

Information

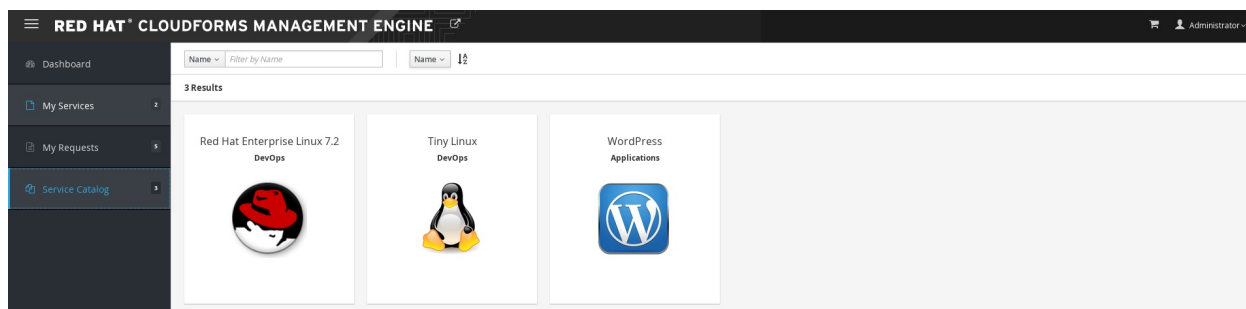
Question

Do you confirm deployment?

☒

第5章 サービスカタログタブ

サービスカタログ タブには、全サービスカタログ項目の一覧がタイルとして表示されます。ユーザーがそれらの項目にアクセスするには、管理ユーザーインターフェースで予め設定しておく必要があります。サービスカタログ項目は、名前、説明、カタログ名 でフィルタリングしたり、並べ替えたりすることができます。



サービスをクリックすると、管理ユーザーインターフェースで事前に設定されている、サービスに関連付けられたダイアログのフィールドに要求する情報を入力するページが開きます。セルフサービスユーザーインターフェース内で動的なダイアログ要素を追加できる機能が実装された点に注意してください。これは、Red Hat CloudForms がインスタンスと通信およびメソッドと通信して、必要な情報を取得し、その値がフィールドに動的に入力される特定のダイアログフィールドを追加できることを意味します。要求されたダイアログパラメーターで情報がすべて提供された後は、ショッピングカートに追加 をクリックしてください。

ショッピングカートモデル:

セルフサービスユーザーインターフェースでは、ショッピングカートモデルを採用しており、サービスを即時にオーダーする代わりにこのカートを利用することができます。画面上部のショッピングカートのアイコンをクリックすると、ショッピングカートに追加済みのオーダー可能な全サービスが表示されます。必要な場合には特定のサービスをカートから削除することが可能です。また、カート内の全サービスを一度にオーダーしたり、まとめて消去して終了することもできます。

